



WE TRY NEW

いつも未来に挑戦

TAYCA REPORT

第146期 中間報告書

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで



テイカ株式会社

証券コード:4027

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社は平成23年9月30日をもって、第146期の第2四半期連結累計期間を終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長 清野 學



当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響による停滞を脱し、回復の兆しが見られたものの、急激な円高の進行や欧米景気の減速など、先行き不透明感が払拭しきれない状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開し、業績の向上に努めました。その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、微粒子酸化チタンをはじめとする酸化チタン関連製品の販売が好調に推移したこと、販売量の増加に伴い工場稼働率が改善したこと等により、売上高は176億8千7百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は19億8千2百万円（前年同期比31.7%増）、経常利益は19億6千6百万円（前年同期比33.2%増）、四半期純利益は11億

3千9百万円（前年同期比33.1%増）となりました。

当社の中間配当につきましては、誠に不本意ではありますが、見送らせていただくことといたしました。

今後の見通しにつきましては、原材料価格の高騰や円高の進行による海外メーカーとの激しい価格競争等により、収益面で厳しさが増すものと予測されます。

このような状況の下、通期の連結業績は、現時点で売上高346億円、経常利益30億円、当期純利益17億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

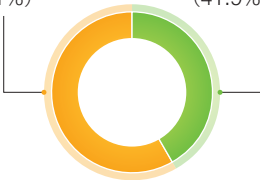
セグメント別の概況

事業区分	主要な事業内容	会社名
酸化チタン関連事業	酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面处理製品、光触媒用酸化チタン等の製造、販売	当社 ティカ商事(株)
その他事業	界面活性剤、硫酸、低分子量芳香族スルホン酸、無公害防錆顔料、導電性高分子酸化重合剤、エレクトロ・セラミックス製品等の製造、販売 化学工業薬品等の輸送、保管	当社 ティカ倉庫(株) ティカ商事(株) ティーエフティー(株) 朝日商運(株) TAYCA(Thailand) Co.,Ltd.

セグメント別売上高構成比

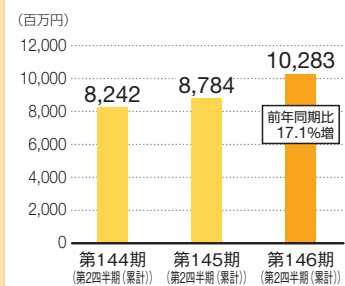
酸化チタン関連事業
10,283 百万円
(58.1%)

その他事業
7,403 百万円
(41.9%)



酸化チタン関連事業

汎用用途の酸化チタンは、国内では東日本大震災の影響による停滞から概ね回復し、インキ向け、塗料向け等の販売が好調に推移しました。輸出もアジア市場を中心に引き合いが旺盛で好調に推移しました。機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛は、主用途の化粧品向けが好調に推移、表面处理製品も堅調に推移しました。



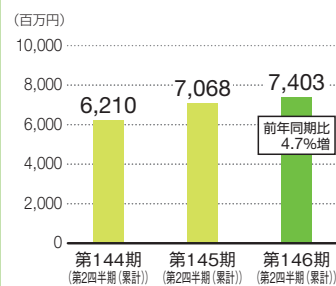
こんなところに
ティカの製品

「表面处理製品」は、微粒子酸化チタンなどを有機化合物でコーティングした粉体材料です。日焼け止め化粧品やコピーのトナーなどに使われています。



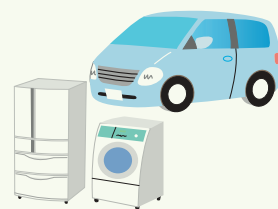
その他事業

界面活性剤は、主用途の洗剤・シャンプー等日用品向けの販売数量は減少したものの、原料価格上昇分の販売価格への転嫁に努め、前年同期並の売上高を維持しました。海外の連結子会社は引き続き好調に推移しました。導電性高分子酸化重合剤は、中国品の攻勢により低調でした。無公害防錆顔料は、円高の影響を受け売上高は減少しました。



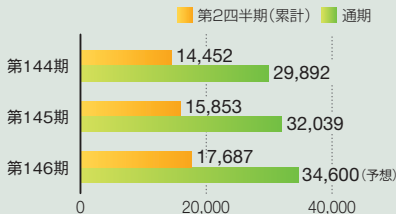
こんなところに
ティカの製品

「無公害防錆顔料」は、クロムや鉛を含まない環境に優しい製品です。自動車や家電製品などに使われています。

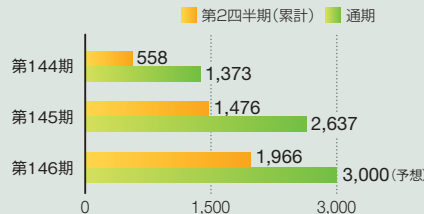


財務ハイライト

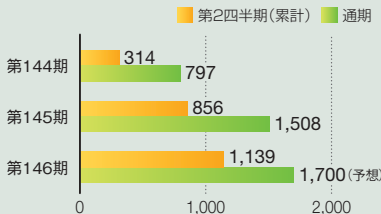
売上高 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



※ 第145期より、従来の「その他化学品事業」および「その他事業」を統合し、「その他事業」といたしました。
なお、第144期第2四半期(累計)の数値につきましては「その他化学品事業」と「その他事業」を合算しております。

UVAの遮蔽率が最も高い 中サイズ微粒子酸化亜鉛の量産化に成功

地表に到達する紫外線にはUVA(波長域320～400ナノメートル)とUVB(波長域280～320ナノメートル)とがあります。UVAは地表に到達する紫外線のうち95%を占め、肌の奥まで浸透しシワやたるみの原因になり、UVBは日焼けや皮膚がんの原因になります。

当社製品の微粒子酸化チタンはUVBを、微粒子酸化亜鉛はUVAを遮蔽する効果があり、いずれもUV化粧品用として日本や欧米の化粧品メーカー向けに販売しています。

現在化粧品メーカーではUV化粧品の紫外線遮蔽性能のさらなる向上を目指しており、高品質な微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛へのニーズが高まっています。特に微粒子酸化亜鉛の市場では、粒子直径が35ナノメートル未満の小サイズ品や200ナノメートル以上の大サイズ品しかなく、UVA遮蔽能力が最も高いといわれる中サイズ品の製品化が期待されていましたが、これまでは大きさが揃えにくく適正コストでの量産が難しいとされてきました。

そこで、当社は粒子制御の新たな手法を確立するとともに、製造工程を見直し、中サイズ品を安定的に量産できる技術を確認し、このたび粒子直径50～80ナノメートルの製品の工業化に成功しました。この製品は、性能面ではUVA遮蔽率を最大5割向上(当社従来品比)でき、まず50ナノメートル、80ナノメートルの2製品を発売しました。

今後は、100ナノメートル台のグレードをラインナップに追加する予定で、将来的には微粒子酸化亜鉛を微粒子酸化チタンとともに当社の主力製品に成長させたいと考えています。



熊山工場



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	前期末 (平成23年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	23,416	22,677
固定資産	15,866	16,595
有形固定資産	10,467	10,961
無形固定資産	209	139
投資その他の資産	5,188	5,493
●資産合計	39,282	39,273
負債の部		
流動負債	8,837	8,677
固定負債	5,647	6,375
●負債合計	14,484	15,052
純資産の部		
株主資本	23,852	23,011
その他の包括利益累計額	848	1,121
少数株主持分	97	87
●純資産合計	24,798	24,220
負債純資産合計	39,282	39,273

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
売上高	17,687	15,853
売上原価	13,299	12,095
売上総利益	4,387	3,758
販売費及び一般管理費	2,405	2,253
営業利益	1,982	1,504
営業外収益	68	87
営業外費用	84	115
経常利益	1,966	1,476
特別損失	156	90
税金等調整前四半期純利益	1,809	1,386
法人税、住民税及び事業税	644	524
法人税等調整額	12	△3
少数株主損益調整前四半期純利益	1,152	865
少数株主利益	12	9
四半期純利益	1,139	856

(注) 1株当たり四半期純利益 22.96円

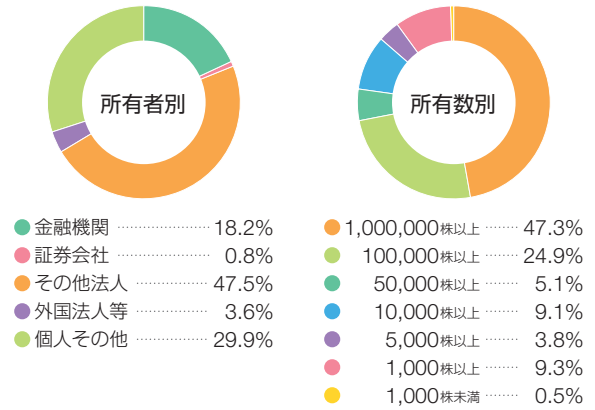
- Point ● 資 産** 資産合計(総資産)は、有形固定資産の減少や、株式市況の低迷による投資有価証券評価益の減少などがありましたが、たな卸資産の増加により、前期末に比べ9百万円増加して392億8千2百万円となりました。
- Point ● 負 債** 負債合計は有利子負債の約定返済により、前期末に比べ5億6千8百万円減少して144億8千4百万円となりました。
- Point ● 純資産** 純資産合計は、その他有価証券評価差額金が減少いたしました。四半期純利益による利益剰余金の増加により、前期末に比べ5億7千7百万円増加して247億9千8百万円となりました。

株式の状況 / 会社概要

株式の状況（平成23年9月30日現在）	
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	51,428,828株
株主数	5,058名
大株主	
株主名	所有株式数(千株)
双日株式会社	4,957
三井物産株式会社	3,568
三菱商事株式会社	3,260
山田産業株式会社	2,940
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,018
テイカグループ持株会	1,963
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1,704
関西ペイント株式会社	1,224
住友商事株式会社	1,000
日本生命保険相互会社	909

（注）当社は自己株式1,790千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

分布状況



会社概要（平成23年9月30日現在）	
設立	大正8年12月
資本金	9,855,953,999円
従業員	477名
事業内容	各種化学工業薬品の製造、販売（酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面処理製品、無公害防錆顔料ほか）
事業所	
本社事務所	大阪市中央区北浜3丁目6番13号 〒541-0041 電話(06)6208-6400(代)
本店	大阪市大正区船町1丁目3番47号
大阪工場	〒551-0022 電話(06)6555-3250(代)
東京支店	東京都中央区日本橋3丁目8番2号 〒103-0027 電話(03)3275-0815(代)
岡山工場	岡山市東区西幸西1072番地 〒704-8136 電話(086)946-8311(代)
熊山工場	岡山県赤磐市小瀬木50番地1 〒709-0717 電話(086)995-9290(代)
役員	代表取締役社長 清野 學 代表取締役専務取締役 古城 康治 常務取締役 名木田 正男 取締役相談役 竹内 千秋 取締役 吉岡 亨 取締役 安原 正史 取締役 山崎 博志 取締役 辺見 武彦 取締役 村上 雅彦 取締役 下道 博司 取締役 清水 俊秀 常勤監査役 飯沼 文博 常勤監査役 平岡 延元 監査役 山田 裕幸 監査役 梶原 俊久

（注）常勤監査役 飯沼文博ならびに監査役 山田裕幸、梶原俊久の各氏は、社外監査役であります。また、当社は株式会社東京証券取引所および株式会社大阪証券取引所に対して山田裕幸、梶原俊久の両氏を独立役員とする届出書を提出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話0120-094-777(通話料無料)

- （ご注意）
- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

公告方法	電子公告 公告掲載URL http://www.tayca.co.jp/ （ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします）
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部 大阪証券取引所 市場第1部



テイカ株式会社

<http://www.tayca.co.jp/>



本印刷物は、環境に配慮し、植物油インキを使用しています。